

株式会社フォーバル

北陸銀行とビジネスマッチング契約締結

～金融機関とコンサルの連携で、中小企業の自走型DXを支援～

『「新しいあたりまえ」で、新しい世界を創るFORVAL』を理念に掲げ、ESG経営を可視化伴走型で支援する「企業ドクター（次世代経営コンサルタント）集団」の株式会社フォーバル（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：中島 将典、以下「フォーバル」）は、株式会社北陸銀行（代表取締役頭取：中澤 宏、以下「北陸銀行」）とビジネスマッチング契約を締結し、中小企業のDX（デジタルトランスフォーメーション）支援を開始いたします。



本締結の背景と目的

現在、中小企業を取り巻く環境は大きく変わっています。デジタル化が日常生活のあらゆる面で進展し、顧客や社会のニーズや市場環境も変化しています。特に北陸地方では、少子高齢化や人口減少、地域経済の停滞といった構造的課題が顕在化しており、地域企業の競争力強化と事業継続性の確保が急務となっています。

こうした背景のもと、フォーバルは北陸銀行とビジネスマッチング契約を締結し、地域の中小企業に対してDX支援を展開します。今回の支援は、これからDXに積極的に取り組もうとしている中小企業の皆さまへ、フォーバルの持つノウハウと独自ツールを提供しながら、北陸銀行とともにDXの自走を促すことを目的としています。本取り組みは、フォーバルが推進する「F-Japan構想」に基づき、ESG経営の可視化と伴走支援を通じて、地域創生と企業価値の向上を目指すものです。

■「F-Japan構想」産官学金連携について：<https://www.forval.co.jp/f-japan/>

主な支援内容

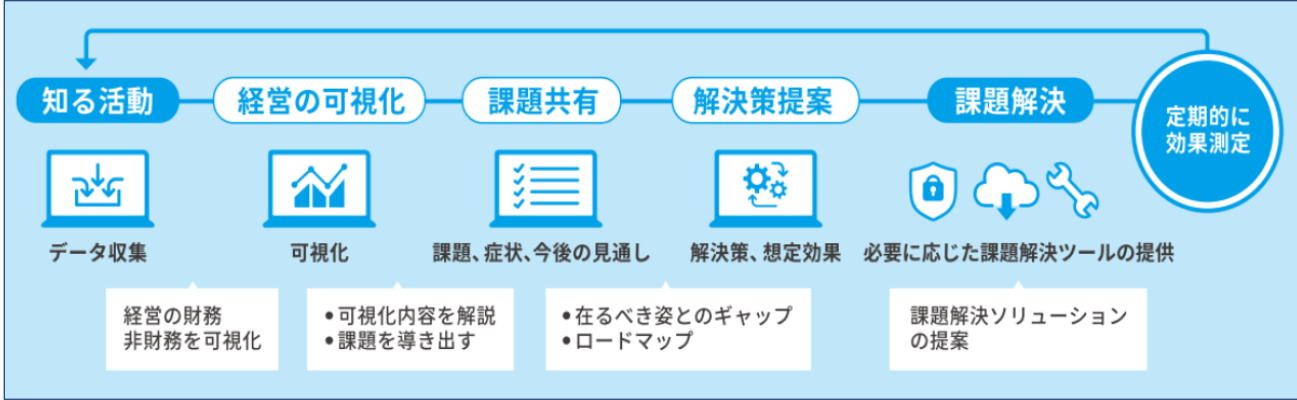
北陸銀行が取引先企業に対してDX支援ニーズをヒアリングし、フォーバルがその企業に対して具体的な支援を提供する体制を構築。両社の強みを活かした連携により、地域企業の課題解決を加速させます。

■フォーバルの支援内容：

- ① DX診断の説明、DX診断開始・ヒアリング実施
- ② 可視化の完了・課題抽出
- ③ 課題に対する伴走支援の実施

抽出された課題に対応するために、フォーバルはお客さまに対する具体的な支援を実施します。伴走型支援業務では、事前準備フェーズ、運用支援フェーズのそれぞれにSTEPを設けて、進捗管理を随時実施。各企業の課題に寄り添ったソリューションをご提案し、サポートを行います。

【伴走支援の流れ】



株式会社フォーバルについて

ESG経営を可視化伴走型で支援する「企業ドクター(次世代経営コンサルタント)集団」であるフォーバル（資本金：41億 50百万円、【証券コード：8275】）は、中小・小規模企業を対象に「情報通信」「海外」「環境」「人材・教育」「起業・事業承継」の5分野に特化したコンサルティングサービスをコアビジネスとしています。

政府が掲げる4つの原動力「グリーン」「デジタル」「活力ある地方創り」「少子化対策」に則り、自治体・民間企業・教育機関・金融機関と連携しながら日本全国でDX・GX人材を育て、その人材が地元経済を活性化させるという好循環によって持続的な地方創生の実現を目指す「F-Japan」構想を推進するとともに、近年ますます注目される人的資本をはじめとしたESG経営の可視化伴走支援に取り組んでいます。

■会社概要

社名：株式会社フォーバル

代表：代表取締役社長 中島 將典

設立：1980年（昭和55年）9月18日

所在地：東京都渋谷区神宮前五丁目52番2号 青山オーバルビル14階

URL：<https://www.forval.co.jp>